※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰで学んだことを生活において実用的に使えるよう、表現では自己や社会などを深く見つめた主題にしている。また、それぞれの表現の原理を解説することで、美術文化について理解を深めることができるよう指導する。
・鑑賞では、他者の作品を鑑賞し意見を交換することで、作品や作者の個性などについての多様な見方ができるようになり、個性豊かな美術の能力を高められるよう指導する。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，美的体験を深め，生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり，自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性と美意識を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	素描	**【絵画】空想デッサン** 名画から想像を膨らませ、独創的な世界を鉛筆で描く。	a:形の捉え方や鉛筆の扱い方、明暗による表現を理解できている。 b:名画の世界観を自身の表現に上手に取り入れることができている。 c:鉛筆の多様な表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組めている。	作品	作品	制作に取り組む態度 振り返りシート
2学期	油絵	**【絵画】心情の風景** 自身の思いを言葉や絵で書き出し、考えを整理しながら、したえを制作する。 シュールレアリスムの作品を参考に構成や表現を学ぶ。 油絵の具の特徴、技法　理解し描く。	a:油絵の特徴や絵画の魅力を理解している。 a:モチーフの形の正確さや立体的な表現を意識して描けている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、独自の世界観を形体、色彩、構成などを工夫して表現している。 c:油絵の具の多様な表現に関心を持ち、意欲的に制作に取り組めている。	作品	作品	制作に取り組む態度 振り返りシート
3学期	立体基礎	**【彫刻】抽象立体** 目に見えないものを形に表現し伝えることを目指す。 発砲スチロールをカービングにて立体作品を制作。	a:立体芸術としての条件を満たしているか。 a:計画的に丁寧に制作できている。 b:表現したい内容を伝えられるよう、形等での工夫がみられる。 c:立体芸術の多様な表現に関心を持ち、意欲的に制作を取り組めている。	作品	作品	制作に取り組む態度 振り返りシート
	鑑賞	【鑑賞】芸術祭 レポート 校内で展示されている作品を鑑賞しレポートを書く。	a:作品から技術や技法を理解している。 b:思考力を働かせ作者の意図を感じ取れるか。 c:芸術作品に関心を持ち、理解しようとする姿勢があるか	レポート	レポート	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度